

平成24年行政事業レビューシート

(復興庁、厚生労働省)

事業名	水道施設災害復旧費補助 (復興関連事業)		担当部署	復興庁/厚生労働省健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	統括官付参事官(予算会計担当)/水道課		尾関 良夫(復) 石飛 博之(厚)		
会計区分	一般会計、東日本大震災復興特別会計(H24～)		施策名	IV 4 2 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律第3条第1項第1号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道施設は、国民の日常生活や地域産業活動に欠くことのできない施設であり、東日本大震災により甚大な被害を受けた水道施設については一刻も早く復旧を行う必要があり、早期に復旧することで安全で質が高く災害に強い水道を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災により著しい被害を受けた水道施設について、地方公共団体が経営する水道事業、水道用水供給事業等が施行する災害復旧事業の事業費の一部補助に必要な経費。 ① 東日本大震災により被害を受けた水道施設及び飲料水供給施設を原形に復旧する事業《補助率:80/100～90/100(特別立法による嵩上げ。通常は1/2)》 ② ①と水圧管理上一体的な関係にある給水の施設を原形に復旧する事業《補助率:1/2(通常は補助対象外)》 ③ ①の管路の漏水調査で請負に係るもの《補助率:1/2(通常は補助対象外)》 ※平成24年度以降は、復興庁で一括計上し、厚生労働省で執行。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算			46,300(厚生労働省計上)			
		繰越し等			△ 38,315	38,315		
		計			7,985	58,315	20,000	
	執行額				7,853			
	執行率(%)				98.3%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(23年度)
	断水戸数		成果実績	戸	-	-	4.5万※	0
			達成度	%	-	-	100.0	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	災害査定実施件数		活動実績(当初見込み)	件	-	-	241	-
					(-)	(-)	(224)	(64)
単位当たりコスト	33(百万円/事業数)		算出根拠	執行額/被災事業数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	水道施設災害復旧事業費補助	20,000(復興庁計上)	20,000(復興庁計上)					
	計	20,000	20,000					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	安全で質の高い水道を確保するため、早期に被災した水道施設を復旧することは広く国民のニーズがあり、優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	東日本大震災により甚大な被害を受けた水道施設については一刻も早く復旧を行う必要があり、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	水道施設災害復旧事業に係る施設整備については、補助金交付要綱に照らして採択を行っているところであり、競争性は確保されておりその支出先の選定も妥当である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	適正な執行を行い、単位あたりコスト削減に今後も努めることとする。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業を実施することで安全で質の高い災害に強い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業実績報告等において費目・使途を十分に把握でき、事業目的に真に必要なものに限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果実績及び活動実績からみて他の手段と比較して実行性の高い手段といえる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	適切な成果目標を立て、その達成度は高い。なお、現在の断水戸数約4.5万戸については津波により家屋等が流出した地域で、街の復興に併せて水道も復旧・整備する予定。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	見込みを上回る実績であり、見合ったものである。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	成果実績及び活動実績からみてその成果物は十分に活用されている。
点検結果	水道施設災害復旧事業補助は水道施設がライフラインの要であることからみても必要な事業であり、執行の観点からも妥当である。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、東日本大震災により著しい被害を受けた水道施設に係る災害復旧事業に必要な経費であり、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	復興-49

厚生労働省 7,853百万円

〔 補助金の交付決定 〕

【補助】

○水道施設災害復旧事業費

A. 水道事業(採択件数214) 7,853百万円

〔 災害復旧事業の実施 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.茨城県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事	1,908			
計		1,908	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト
A.水道施設災害復旧事業費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	茨城県	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事	1,908		
2	潮来市	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事	987		
3	千葉県	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事	659		
4	いわき市	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事	588		
5	登米市	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事	538		
6	水戸市	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事	493		
7	南三陸町	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事	446		
8	福島市	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事	407		
9	塩竈市	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事	368		
10	陸前高田市	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事	346		